

発行：東京都港区虎ノ門
2-10-1 虎ノ門ツインビルデ
ィング西棟4階
富士通虎ノ門オフィス内
Mail: icscp@nifty.jp Ver. 2
2014年8月31日(日)No.017

ICSGP 産応協ニュース <第17号>

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)
Industry Committee for Super-Computing Promotion

HPC オータムスクール 2014 開講案内 —産応協の将来のために—

本年度のHPC オータムスクール 2014では、新生・産応協2年目の活動を進めて、今後の活動のあり方等を含めて、産応協の活動を支えてきた方々に産応協の来し方行く末を語って頂いて、これをもとに企画委員、実行委員の全体を数グループに分け、徹底的に議論できる環境を整えたのちに、産応協かくあるべしの議論を行った。その結果として、スクールの最後の全体会議では、それを共有する時間を設け、今後の産応協の活動(ビジョン/アクション)に反映させるとともに、本年12月に開催する第7回シンポジウム等で外部に発信するシーズとしてまとめてみることにした。

1. 主催：スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)
共催：東京大学生産技術研究所 革新的シミュレーション研究センター
2. 開催日時：平成25年9月19日(金)～9月20日(土)
3. 開催場所：多摩永山情報教育センター
4. 募集人数：23名(産応協企画委員及び実行委員)
5. プログラム：HPC産業利用オータムスクール プログラム概要
9月19日(金) <1日目>
 - ① 13:00～13:10 オリエンテーション(参加者自己紹介、1日目の進め方説明)
 - ② 13:10～14:00 [講演]
産応協の思いの丈を語る/産応協の活動検討の軌跡から
 - ③ 14:00～16:00 [講義]
「京」の最新情報や「ポスト京」の情報共有
・「京」の運用と利用実態(仮)
・ポスト「京」の検討状況(仮)
 - ④ 16:00～18:00 [グループ討論①]
 - ⑤ 18:00～19:30 夕食、休憩
 - ⑥ 19:30～21:00 [グループ討論②]
産応協に期待することを中心に、各委員の意見表明と共有
9月20日(土) <2日目>
 - ① 8:30～8:40 2日目の進め方説明
 - ② 8:40～10:10 [グループ討論内容の紹介]
 - ③ 10:10～10:30 休憩
 - ④ 10:30～12:00 総合討論
グループ討論内容を下敷きに、全体での討論を通じて産応協活動の方向性を見出す。
 - ⑤ 12:00～12:30 昼食
 - ⑥ 12:30～13:30 オータムスクール総括、解散

海外におけるHPC産業利用状況調査の委託実施

- ・委託調査の実施確認⇒神鋼リサーチ㈱へ7月末委託調査の発注と契約
第一ステップ調査の契約日:2014年7月31日、中間報告:2014年9月10日
最終報告の提出:2014年9月30日
- ・今回の調査は、第一ステップ:サーベイ調査と第二ステップ:ヒアリング調査の2段階方式となっており、まずは、第一ステップとして調査を実施し、9月末までに調査結果を出すこととしている。次回、第11回実行委員会では、中間報告を行うこととした。その結果を受けて、第二ステップに取りかかることとした。強い要求としては、昨年度実施した運営に係ることは調査範囲外とし、事例調査に向けた結果を要求し、来年度の活動に活かすこととした。

ポスト「京」の重点課題に取り組む代表機関等の公募に関する審査委員候補について

平成26年8月20日(水)第5回委員会にて報告書が取りまとまった後、9月以降に重点課題に取り組む代表機関等の公募を行う予定。公募に際しては、有識者による審査委員会を設置し、9つの重点課題を以下の4つのカテゴリに分けて審査を行うことを想定。(各々数名程度の規模を想定。)

《参考》

●重点課題一覧

【健康長寿社会の実現】

- ①生体分子システムの機能制御による革新的創薬基盤の構築
- ②個別化・予防医療を支援する統合計算生命科学

【防災・環境問題】

- ③地震・津波による複合災害の統合的予測システムの構築
- ④観測ビッグデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化

【エネルギー問題】

- ⑤エネルギーの高効率な創出、変換・貯蔵、利用の新規基盤技術の開発
- ⑥革新的クリーンエネルギーシステムの実用化

【産業競争力の強化】

- ⑦次世代の産業を支える新機能デバイス・高性能材料の創成
- ⑧近未来型ものづくりを先導する革新的設計・製造プロセスの開発

【基礎科学の発展】

- ⑨宇宙の基本法則と進化の解明

●重点課題の概要については、以下の第4回委員会資料をご参照。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shinkou/035/shiryo/1350309.htm

資料2 ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題(案)

第11回企画委員会開催議事報告(8/19)

[報告事項]

- 第4回タスクフォース活動報告
- HPC I コンソーシアム報告
- 文部科学省「ポスト『京』で取り組むべき重点課題検討委員会(第4/5回)」について
- 実行委員会活動進捗報告

①第30回スパコンセミナー企画立案に向けて(本年度第二回10/22開催)

②第2回オータムスクール開講に向けて(産応協の将来のために)

今回は、新生・産応協の活動現況に合わせて、企画委員会と実行委員会との合同合宿による活動の連携強化を図るためのスクールとする。

開催日:平成26年9月19日(金)~20日(土) 一泊二日

会場:多摩永山情報教育センター

参加者:企画委員、実行委員

③海外におけるスパコン産業利活用実態調査(第一ステップの実施)

④アンケート調査の実施(利活用普及への課題)

[審議事項]

●産業競争力強化のためのシミュレーションソフト戦略の検討について

●第7回シンポジウム準備委員会の立上げについて

開催時期を12月とする。同日に運営委員会/総会/経営トップセミナーを行う。

●その他

- ・理化学研究所 CREST 国際シンポジウムへの協賛について
- ・ポスト「京」の重点課題公募に関する審査委員について

文部科学省委託業務「HPCIの運営」の「今後の運営の在り方に関する調査検討」を行うためのWGの検討項目と構成員について

理化学研究所計算科学研究機構が受託した文部科学省委託業務「HPCIの運営」の「今後の運営の在り方に関する調査検討」を行うためのWGの検討項目及び構成員（以下「委員」という。）は以下のとおり。

1. AICSが設置するWG（設置期間：平成26年8月8日から検討終了まで）
スーパーコンピューティングに関する調査検討WG

2. WGの検討項目と委員構成

- 検討項目
- 第二階層システムのあり方
- HPCI システムの整備・運用体制のあり方
- 産業利用の促進
- 人材育成・分野振興等 他
- 委員構成

主査 常行 真司 東京大学大学院理学系研究科 教授

青木 慎也 京都大学基礎物理学研究所 教授

青柳 睦 九州大学情報基盤研究開発センター 教授

伊藤 聡 独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構
コーディネーター

今脇 資郎 独立行政法人海洋研究開発機構 特任参事

小野 英司 一般財団法人高度情報科学技術研究機構神戸センター
副センター長

笠 俊司 スーパーコンピューティング技術産業応用協議会 企画委員

木寺 詔紀 横浜市立大学生命医科学研究科 教授

小林 広明 東北大学サイバーサイエンスセンター長

高木 亮治 独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 准教授

中野 純司 情報・システム研究機構統計数理研究所
統計科学技術センター長

中村 宏 東京大学情報基盤センター長

米澤 明憲 独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構 副機構長

タスクフォース開催<第5回>報告 (8/19)

【HPCI 産業利用拡大への提言に向けた意見取り纏め】を行うため、関連する情報の確認と共有討議を行った。これらの結果に基づき、「追加質問・確認」等のコメントについてバージョンアップを進め、産応協としての意見整備を進めるとともに情報の発信を行うための情報の整理などを急ぐこととした。

平成 27 年度「京」および「京」以外の HPCI 計算資源利用研究課題募集のお知らせ

登録施設利用促進機関 一般財団法人高度情報科学技術研究機構では平成 27 年度の「京」および「京」以外の HPCI 計算資源を利用する研究課題の募集を以下のとおり。

- ・募集開始：平成 26 年 9 月 5 日
- ・申請受付：平成 26 年 10 月 1 日
- ・申請締切：平成 26 年 11 月 6 日
- ・利用開始：平成 27 年 4 月 1 日

また、課題募集説明会を以下のとおり開催。

神戸 9 月 5 日（金）および 9 月 30 日（火）

理化学研究所 計算科学研究機構 <http://www.aics.riken.jp/jp/map/>

東京 9 月 12 日（金）および 9 月 19 日（金）

フクラシア浜松町 <http://www.fukuracia-hamamatsucho.jp/access/>

いずれの日程も 14：00～16：00 の開催を予定。

参加は無料ですが、事前申込みが必要。

募集の詳細と説明会への参加申込みは、HPCI ポータルサイトをご覧ください。

HPCI ポータルサイト：<https://www.hpci-office.jp/>

なお、「京」産業利用（個別利用）と「京」トライアル・ユースは随時申請を受け付けている。

*お問い合わせ先：登録施設利用促進機関 / HPCI 運用事務局

一般財団法人 高度情報科学技術研究機構 神戸センター 共用促進部 募集担当

E-mail：boshu@hpci-office.jp

産業基盤シミュレーションソフトウェアの調査プロジェクトの立ち上げ準備作業への参加について

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）産業基盤ソフト検討チーム（滝本主査）では、「産官学連携による産業基盤シミュレーションソフトの開発とその利用技術の確立に関わる調査プロジェクト」（産業基盤ソフト調査プロジェクト）の立ち上げを計画しており、8 月 28 日付で本プロジェクトの主旨に賛同し、立ち上げの準備作業に参加いただける企業または企業団体への参加募集を実施した。

1 「産業基盤ソフト調査プロジェクト」の概要

- ・「中長期的に産業競争力の基盤となる、シミュレーションソフトウェア及びその利用技術」について産業界が中心となったコンソーシアムにより調査するプロジェクトである。
- ・実施にあたっては、文科省が計画している、ポスト「京」で重点的に取り組むアプリ開発プロジェクト（重点アプリプロジェクト）の中でアカデミア側と連携し、産業界側のニーズとアカデミア側のシーズのマッチング、実現性検証を行います。2014 年度中にプロジェクトを開始し、2～3 年の期間を想定する。
- ・調査期間終了後、その成果を評価し、実際のソフトウェア開発、継続的に改良・維持・普及する仕組みの実現に向けてプロジェクトの継続、または新規プロジェクトの立ち上げを狙いとする。

2 「産業基盤ソフト調査プロジェクト」の立ち上げに向けた準備作業

2.1 準備作業の概要

- ・主旨にご関心をお持ちの、各企業・企業団体に以下の準備作業をしていただき、重点アプリプロジェクトのアカデミア側との連携の可能性、プロジェクト参加への可能性を探る。
 - 調査プロジェクトの対象となりうるテーマ（産業界側のニーズ）の検討
 - アカデミア側パートナー候補とアカデミア側への期待の検討
- ・準備作業は以下の分野に分けて、関心のある分野へ参加をお願いする。
 - ①材料・デバイス
 - ②化学
 - ③機械
 - ④創薬・バイオ
 - ⑤防災
 - ⑥エネルギーその他
- ・準備作業期間は 2014 年 9 月～10 月下旬を想定する（重点アプリプロジェクトの公募

スケジュールに依存して、変更する可能性があります。

2.2 準備作業後の進め方

- ・準備作業を経て、アカデミア側との合意がとれた分野については、連携して、重点プロジェクトに応募します(サブテーマとしての参加等を想定し、応募作業をアカデミア側と連携して実施)。
- ・準備作業への参加は調査プロジェクトへの参加を義務付けるものではありませんので、準備作業への積極的な参加を期待する。

第5回ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題についての検討会開催概要報告

・日時2014年8月20日(水) 10時～12時

・会議概要:

- (1) 第4回委員会における委員からの主な意見等について
- (2) 報告書について

<目次>

はじめに

第1章 プロジェクト概要

第2章 ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題

第3章 ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題に関するアプリケーション開発・研究開発の進め方

第4章 ポスト「京」の計算資源配分

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shinkou/035/shiryo/1348983.htm

<<関連行事のお知らせ>>

ポストペタスケールシステムソフトウェアに関する JST CREST 国際シンポジウム開催案内

本国際シンポジウムは、科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業 CREST 研究領域「ポストペタスケール高性能計算に資するシステムソフトウェア技術の創出」(研究総括:米澤明憲(理化学研究所計算科学研究機構 副機構長))主催によって開催するもので、本研究領域で目指している、京の次の世代あるいはそれ以降のスーパーコンピューティングに資するシステムソフトウェアやアプリケーション開発環境等の基盤技術の創出に関する研究成果を、広く国内外に広く発信するとともに、海外から各分野の第一線で活躍する著名な研究者を多数招聘することによって国際的な交流を促進することを目的。本国際シンポジウムが契機となって世界各地における同様の研究コミュニティの形成を促し、国際協力が進展することを強く期待する。

本 CREST 研究領域は設置されてから 4 年が経過し、現在はシステムソフトウェア、プログラミング、数値アルゴリズム、大規模シミュレーション等、高性能計算の幅広い分野をカバーする 14 チームが精力的に研究開発を推進しており、その成果が今後のエクサスケールシステムの開発、運用、利用に大いに資することが期待される。

期間:2014年12月2日(火)から4日(木)

場所:神戸大学 総合研究拠点 コンベンションホール/理化学研究所計算科学研究機構

主催:科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業(CREST 領域)「ポストペタスケール高性能計算に資するシステムソフトウェア技術の創出」

今後の予定

9/2 HPC 産業利用スクールオータムスクール 14 企画 G 第 2 回打ち合わせ

9/5 シンポジウム準備委員会第 1 回開催

9/10 第 11 回実行委員会開催

9/11 TF 会議開催

9/19-20 HPC オータムスクール 2014 開講

9/25 実行委委員会ビジョン策定/ロードマップ構築 WG 開催

[産応協事務局]

事務局は「虎ノ門」に設けておりますので、お問い合わせをお待ちしております。

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

事務局 滝口、清

電話 03-6435-5425 Email:icscp@nifty.com